

## 真夏は元気にステイホーム

### 1歳4カ月（2023年8月）

まだまだ見た目は赤ちゃんのようですが、表情のしぐさもしっかりしてきました。

- ・自分の名前がわかるようで、呼ばれたら振り向いたり手を上げたりしてうれしそうな顔
- ・おもしろそうなものを見つけるとすかさず指さし、とっても好奇心旺盛
- ・お盆時期、法事に参加したり親戚に会ったり少しおでかけ
- ・おもちゃでも何でもそこら中のものをポンポンよく投げるクセがあり、今だけのことかなと思いつつ、誰かをケガさせたり物を壊したりしないかなと心配
- ・投げる先を見ずに、力いっぱい投げてしまう
- ・子ども本人に邪魔されて、育児記録がなかなか書けないことが小さな悩み

ようやく歩けるようになりました。まだ家の中だけです。数歩よちよちと歩いている、高速はいはいで移動し、忙しそうに遊んでいます。

うれしそうに歩く姿を見て、さっそくお店に靴を見に行きました。

初めて靴を履き、嫌がりはしなかったものの、違和感が大きいようで歩きませんでした。

成長が早く足もすぐ大きくなる時期のため、もうしばらく室内歩きをさせて、足がしっかりしてから購入しようと思います。

夏の暑い時期で、公園遊びもむずかしいので、涼しくなったからの予定です。

毎日しっかりごはんを食べて、ほっぺたが何だかぷっくりしてきました

おかずを多めに作っては冷凍して食べさせます。肉・魚・野菜を欠かさず摂らせよう、味はうすめに、おやつも用意して等と、子ども用ごはんの準備はとても骨が折れます。

この頃の私は「今日の子どものご飯をどうしよう」ということがいつも頭の中に入り、楽しい時もしんどい時もあります。

食事量も安定し、ぱくぱく食べるようになり、作りがいがあるとは思っています。

寝かしつけについて、一つうまくいった方法があります。昼寝時に試したタヌキ寝入り法です。

どうも眠そうな様子ではあるものの、遊びたい気持ちもあってか寝つけない様子の時でした。

私自身がじっと目を閉じて寝たふりをします。おおげさにあくびをしてみたり寝息をたててみたりもします。

お気に入りぬいぐるみ達もまきこんで、ああ眠いねえ、もうねんねしようかと、お芝居もまじえます。

効果てきめんで、子どもはすぐにコローンとかたわらに転がりごろごろし、ほどなく眠りにつきます。

5～10分くらいで寝てくれます。

この時、まず私が寝ているのに気づくと、顔をじっとのぞきこみに来る様子がとてもかわいいです。

## 2歳3カ月（2024年7月）

猛暑に参りそうな私を尻目に、子どもは暑さなんてものともせず、涼しい室内で大笑いして走り回ったり、ままごと遊びをしたり読書したりと、毎日楽しそうに遊んでいます。

ただ、ほかほかご飯を好まなくなり、冷蔵庫に少し入れておいたひんやりご飯なら食べるようになりました。

日々成長にともない小さな変化がたくさんあります。

・気に入らないときっぱり拒否します。「いや」とはあまり言わず、「ちがう」「もういい」と言います。

・洗濯かごでよく遊んでいます。

おもちゃ等の好きなものをいろいろつめこんでみたり、ぬいぐるみを乗せて電車ごっこをしたり、最後には自分自身が中に入ってみたりします。

勢いあまってひっくり返ることも時々あるので、危なくないか見守るようにしています。

・ままごと遊びで、紙きれや空き容器等を集めてお皿にもりつけて「まま、ごはん、できたよー」と持ってきます。

食べまねをしてみせるとにっこり満足そうな様子です。もし食べまねをしなかったら、「まま！」と怒ります。子どもと遊ぶのは楽しいけれど、延々とつづくので正直つかれることもあります。

私への要求もよりはっきりしてきました。

「まま、ゴハン、して！」と強めの口調で言ったり、ほしいものを連呼したりしま

す。

服をひっぱったり、ぐいぐい体を押ししたりしながら、「こっち来て」とか「あっち行って」等と言うようにもなりました。

また、何か目新しいものを見つけると、自分のものだと言って聞かず、手に入らないと泣きだしてしまうこともあります。

ちょっとうれしい変化がありました。

ささいな困りごとは日々いろいろありますが、一つ解決しつつあることがあります。

6月の当コラムで書いた通り、我が家の戸はあちこち開けっぱなしで暮らしていました。

いよいよむしむしと暑くなり冷房必須の時期になっても変わりません。

戸を閉めると子どもが大泣きし、さらには「開けてー！」と大声で連呼するようになってしまったので、もう戸を閉めることはあきらめていました。

とはいえ冷房の効率がわるすぎるので、だまされたましこっそりと少しずつ戸を閉めるようにし、ようやく半分くらいは閉めても何も言わないようになりました。

さらに数週間経過すると、ついに子どもが自力で戸を開け閉めできるようになり、戸を閉めても平然としていたり、子ども自身が戸を閉めるようになりました。

ひっきりなしに開けたり閉めたりして遊んだり、私が開けないでと言っても開けてしまったりと、そんなことはあるものの、もう家中の戸を全開生活とはさよならできたので、ほっとしています。

思えば子どもが0歳の頃、何でもすぐ口に入れてしまう時期がつづき、一体いつま

でつづくのかと気をもんでいましたが、1歳過ぎるとだんだん落ち着き、1歳半頃には、すぐ口に入れることはなくなりました。

子どもはどんどん成長するので、親が悩んでいることも、だいたいは一過性のものが多いです。

それは何となくわかっていても渦中にいる時はとっても悩むし、振り返って思うだけで、いつも何かしらの課題があって必死でがんばるだけです。

それも、2歳になってくると、赤ちゃん時代よりは悩みも減り、ずいぶん楽になったように感じます。

ただ、これは無事に成長してくれているからこそ持てる感慨ではあるので、ありがたいことだと改めて思います。

ではまた来月・・・。

最後までお読みくださり、ありがとうございました！